

2021年度決算・2022年度予算

【2021年度決算】

事業活動計算書の収益は、6,912,773千円で予算に対して2.4%下回り、前年に対しては3.7%伸張しました。新規事業はそらいえ柏式番館（柏市・障がい者グループホーム）、ケアプランセンターオリーブ（船橋市）の開所、なりた複合施設開設により新たに小規模多機能型居宅介護、訪問看護、重心通所（生活介護・放課後等デイサービス・相談支援事業）の開所、千葉市稲毛区にて看護小規模多機能型居宅介護開所、精神障がい者支援事業を単独事業として佐倉市に開設しました。大きな支出としては特養八街にて職員寮の建設と大規模修繕がありました。

経常増減差額は、△53,115千円で予算より△63,635千円・前年実績より△136,332千円下回りました。経常増減差額率は△0.8%（前年1.2%）です。

【2022年度予算】

法人全体の予算は、サービス活動収益計画を7,442,747千円（前年実績対比107.7%）、サービス活動費用計画を7,293,574千円（前年対比104.2%）、経常増減差額158,607千円の編成です。経常増減差額率は2.1%（前年△0.8%）となります。

事業活動計算書（2021年度決算：2022年度予算）

単位：千円

| 勘定科目 | | 2021年度決算 金額 | 前年比 (20年度実績対比) | 2022年度予算 金額 | 前年比 (21年度実績対比) |
|---------------------------|-------------------------------------|----------------|-------------------|----------------|-------------------|
| サービス活動増減の部 | 収益 | | | | |
| | 介護保険事業収益 | 3,553,788 | 104.5% | 3,864,762 | 108.8% |
| | 老人福祉事業収益 | 295,679 | 95.8% | 316,772 | 107.1% |
| | 児童福祉事業収益 | 511,656 | 100.5% | 533,064 | 104.2% |
| | 保育事業収益 | 558,364 | 101.1% | 575,970 | 103.2% |
| | 就労支援事業収益 | 8,620 | 18.1% | 49,767 | 577.3% |
| | 障害福祉サービス等事業収益 | 893,883 | 102.6% | 1,043,597 | 116.7% |
| | 医療事業収益 | 171,372 | 116.7% | 180,546 | 105.4% |
| | 建物貸付事業収益 | 20,730 | 99.1% | 23,194 | 111.9% |
| | 福祉用具事業収益 | 476,321 | 105.8% | 493,596 | 103.6% |
| | 農園事業収益 | 11,399 | - | 0 | - |
| | ヘルパー事業収益 | 528,950 | 21158% | 230 | 43.5% |
| | その他の事業収益 | 395,625 | 113.1% | 360,912 | 91.2% |
| 経常経費寄付金収益 | 14,801 | 229.9% | 331 | 2.2% | |
| サービス活動収益計(1) | 6,912,773 | 103.7% | 7,442,747 | 107.7% | |
| 費用 | | | | | |
| 人件費 | 4,880,706 | 104.7% | 5,316,582 | 108.9% | |
| 事業費 | 558,169 | 107.2% | 566,163 | 101.4% | |
| 事務費 | 1,020,510 | 118.4% | 836,039 | 81.9% | |
| 就労支援事業費用 | 9,103 | 11.0% | 48,624 | 534.2% | |
| 福祉用具貸与事業費用 | 276,253 | 106.0% | 280,203 | 101.4% | |
| 農園事業費用 | 10,153 | - | 0 | - | |
| 減価償却費 | 335,238 | 108.7% | 330,345 | 98.5% | |
| 国庫補助金等特別積立金取崩額 | △87,538 | 111.6% | △84,414 | 96.4% | |
| 徴収不能額 他 | 242 | 61.6% | 30 | 12.4% | |
| サービス活動費用計(2) | 7,002,838 | 105.8% | 7,293,574 | 104.2% | |
| サービス活動増減差額(3) = (1) - (2) | △90,065 | △119.5% | 149,173 | - | |
| 外サービス活動増減の部 | 収益 | | | | |
| | サービス活動外収益計(4) | 57,840 | 93.7% | 25,999 | 45.0% |
| | 費用 | | | | |
| | サービス活動外費用計(5) | 20,890 | 88.4% | 16,564 | 79.3% |
| | サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5) | 36,950 | 97.1% | 9,434 | 25.5% |
| | 経常増減差額(7) = (3) + (6) | △53,115 | △63.8% | 158,607 | - |
| 特別増減の部 | 収益 | | | | |
| | 特別収益計(8) | 129,686 | 263.6% | 49,314 | 38.0% |
| | 費用 | | | | |
| | 特別費用計(9) | 131,194 | 212.9% | 49,314 | 37.6% |
| | 特別増減差額(10) = (8) - (9) | △1,508 | 12.1% | 0 | - |
| 繰越活動増減差額の部 | 当期活動増減差額(11) = (7) + (10) | △54,623 | △77.2% | 158,607 | - |
| | 前期繰越活動増減差額(12) | 821,003 | 104.9% | 954,051 | 116.2% |
| | 当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12) | 766,379 | 89.8% | 1,112,658 | 145.2% |
| | その他の積立金取崩額(14) | 193,253 | 397.0% | 45,317 | 23.4% |
| | その他の積立金積立額(15) | 68,191 | 84.1% | 15,556 | 22.8% |
| | 次期繰越活動増減差額(16) = (13) + (14) - (15) | 891,441 | 108.6% | 1,142,419 | 128.2% |

*2022年度予算の「前期繰越活動増減差額」は予算編成時点での予測値で編成しています。

理事長就任ご挨拶



6月24日に開催されました理事会にて理事長に選任されました水谷です。1983年に生活クラブ生活協同組合千葉に入職し、2001年より社会福祉法人生活クラブの事業にかかわり、2010年から専務理事として業務に携わってきました。

4月からすでに新年度が始まっています。今年度は経営再建と組織運営改革が法人の大きな課題です。経営再建については収入を増やすこと、経費を削減していくことが短期的な目標です。各事業における「強み」「弱み」を再度分析し、ひとつひとつの課

理事長退任及び特別常任顧問就任ご挨拶

皆さん、長い間ありがとうございました。経営の再建を職員に委ねること、申し訳ありません。職員の力を信じています。

この度、理事長を退任することになりました。1998年、法人設立時からですから、24年間務めたこととなります。昨年度は法人設立以来初の赤字決算になり、経営の再建を最優先課題とせざるを得ない形で引き継ぐことは大変申し訳なく、心からお詫びします。昨年来、「全員参加型経営」の実現をめざしています。これからは、トップダウンで上司

風の村
つうしん
2022年7月

生活クラブ風の村 第二章 職員と一緒に始めます。

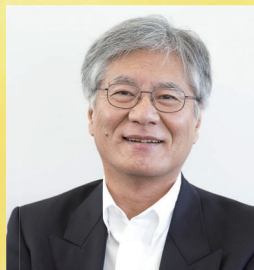
理事長 水谷靖之

題を解決していきます。

長期的には「職員が安心して働き続けられる職場づくり」=組織運営の改革が必要です。「人がいつかない組織」には維持発展はありません。「安心して働き続けられる職場づくり」に職場環境の整備等も大変重要ですが、より重要なのは働いている職員ひとりひとりが「必要とされている」「認められている」「大切にされている」ことが実感できることです。そのように実感できる全員参加型経営、組織改革の一步を踏み出します。

特別常任顧問

池田徹



の指示に従って日々の業務を淡々とおこなっていく組織は、職員の支持を得ることはできません。

一人ひとりが職場の運営に参加し、責任を共有できる組織が求められているのです。経営の再建は、一人ひとりの職員の力を結集できるか否かにかかっています。職員の皆さんの力を信じています。

長い間、ありがとうございました。